

~ 地域別ワークショップ情報誌 ~

まちづくり 瓦版

菊川・四熊・小畑
小学校区
第 2 回

発行：周南市役所都市開発部 都市計画課 tel 2 2 - 8 4 2 6、都市整備課 tel 2 2 - 8 4 0 2

“4つの視点”からまちづくりを考えるワークショップ°開かれる

9月7日(木)、午後6:30から、菊川公民館において、周南市都市計画課、都市整備課主催の第2回地域別市民ワークショップ(参加者が対等の立場で、意見交換や作業を行う方式の懇談会)が開かれました。

ワークショップの目的は、周南市の都市計画の基本的な内容、及び緑地の保全や公園等の計画づくりのための「緑の基本計画」の策定にあたり、きめ細かく市民の皆様の声を計画に反映させることです。

地区内から21人が出席し、市の司会進行のもと、3班にわかれて、「環境保全(生態保全)、レクリエーション、防災、景観形成」の4つ視点から、地域の具体的なまちづくりのための方策などを提案していただきました。

約2時間に渡り、紙に各自が意見を書いて図面に貼り、それを項目ごとに整理していくという作業を共同で行い、各班の代表者に発表していただきました。

安全で美しく、遊び・学べ、そして生き物と共存していくまちづくりのためにはどうしたらよいか、様々な課題について、活発な意見が交わされました。

作業プログラム

時間	内容	時間
18:30	開会、挨拶、ワークショップの説明	約 20 分
18:50	「自己紹介」 始める前に簡単に自己紹介をしてください 発表する人を決めます	約 40 分
19:00	ステップ1「よいところ、わるいところを探す」 よいところ、わるいところマップをつくる	
19:30	ステップ2「こんなふうにしたことを考える」 こんなふうにしたいいマップをつくり整備メニュー整理表にする	約 40 分
20:00	「将来まちづくりテーマを決める」 将来まちづくりテーマを考える	
20:10	ステップ3「発表」 成果を発表します	約 20 分
20:30	まとめ	約 10 分
20:40	おつかれさまでした。解散。	

これからの菊川は

自然と親しめ、生活しやすい、
安心・安全なまちへ

(各班に共通する意見です)



1 班の主な意見

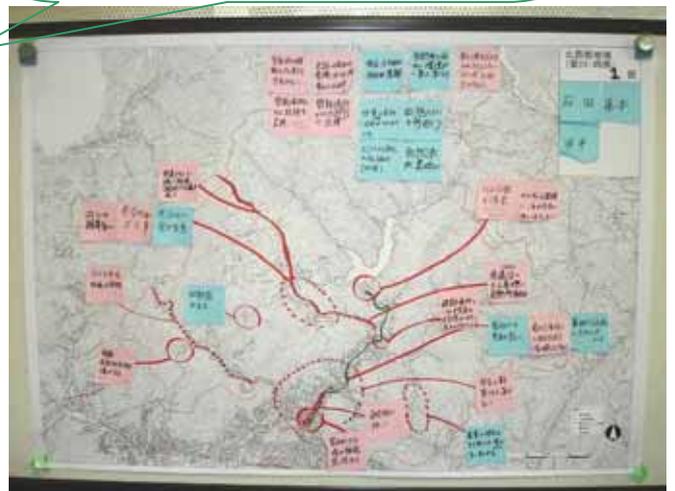
よいところ

- ・市街地に近いのに環境が一変して良い
- ・富田川(上流)、井谷川にホテルがある
- ・富田川の景色が良い
- ・四熊岳がある
- ・米が美味しい
- ・河川の浄化の取り組みをしている
- ・竹資源の有効活用がなされている
- ・井谷・小畑の棚田景観
- ・四熊八十八ヶ所めぐり



わるいところ

- ・避難場所の中学校体育館が老朽化。崖で危険。経路も危険
- ・災害時の情報を伝達する手段がない
- ・新しくきた住民とのコミュニケーションがとれていない
- ・廃棄物処理場がある
- ・ゴミの不法投棄が問題
- ・通学路が狭い。県道321で狭い所有り
- ・河川の雑草が多い。井谷川にゴミ、草
- ・安全に散歩できる道がない
- ・菊川(河川)に土砂がたまり、汚れている
- ・川上公園の管理が悪い



まちづくりのキーワード・テーマ

Uターンをしたくなる心安まる町づくり

～若者から年寄りまで生活しやすい環境をつくろう～

施策メニュー

- ・緑豊かな環境を守り育てるまちづくりをおこなう
- ・歴史香るまちづくり(自然と一体化)をおこなう
- ・市街化区域を広げないこと
- ・避難場所、避難路の整備
- ・富田川で子供が遊べる河川公園を作る
- ・川(農水路・的川など)の護岸整備
- ・県道321を観光バスが通れる様にする
- ・県道321の人家のない所で街灯の整備
- ・ダムそばの空き地を駐車場として整備し不法投棄を防ぐ
- ・陶の道・史跡ロードを整備し、散歩道路としてPRする



2班の主な意見

よいところ

- ・向土井の山の山桜がきれい
- ・小学校前川沿いの桜並木がきれい
- ・富田川の下上、上土井付近に蜚が多い
- ・銀明水が田畑をうるおす
- ・竹炭で河川の浄化活動をしている
- ・広谷に棚田がある
- ・四熊ヶ嶽の山岳公園
- ・小学校西側に防犯灯ができた

わるいところ

- ・山林が荒れている
- ・田が住宅になってきている
- ・県道で東西が分断されている
- ・富田川ぞいの道路が全体に暗い
- ・市道が狭い。小畑の道路が狭い。
- ・休耕田が多い。管理ができていない
- ・川上ダム公園に人が集まりにくい
- ・避難場所が少ない
- ・小畑では過疎化が進んでいる

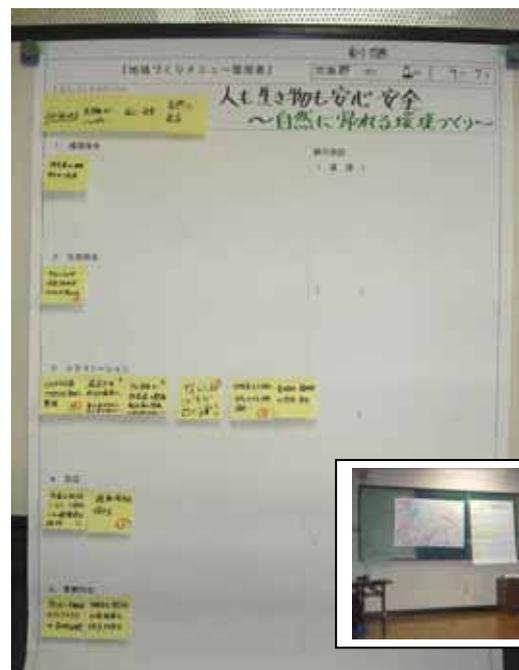


まちづくりのキーワード・テーマ

人も生き物も安心・安全 ~ 自然に帰れる環境づくり ~

施策メニュー

- ・避難場所を増やす
- ・小学校への避難路を確保する
- ・地元産の杉の活用を考える
- ・川上ダム公園へのアクセスを含めた整備
- ・ダム全体散歩道の整備、駐車場の整備
- ・サイレン山を子供が遊べる山にする
- ・四熊岳を公園化する
- ・金明水・銀明水を活用する
- ・棚田を守るための後継者を残す対策を考える
- ・守りたい棚田のランク付けを行う



3班の主な意見

よいところ

- ・住環境・自然環境が良い(地区全体)
- ・金明水がある。四熊ヶ岳がある
- ・不動さま等めずらしい岩がある
- ・金明水・銀明水がある
- ・陶の道がある
- ・ホテルが多い
- ・小畑の石垣の棚田が美しい
- ・竹炭をつくっている
- ・人口が増えている



わるいところ

- ・防災拠点となるものがない
- ・災害時の避難場所がわからない
- ・避難場所が雨もりする(菊川体育館)
- ・集まって遊べる場所がない
- ・川上ダム公園が草ぼうぼう
- ・伐採により樹木がない山があり、土砂が河川に流出している
- ・農地の減少・休耕田の増加
- ・富田川の水がよごれている
- ・山が荒れている。山の管理のための具体的な方策がない

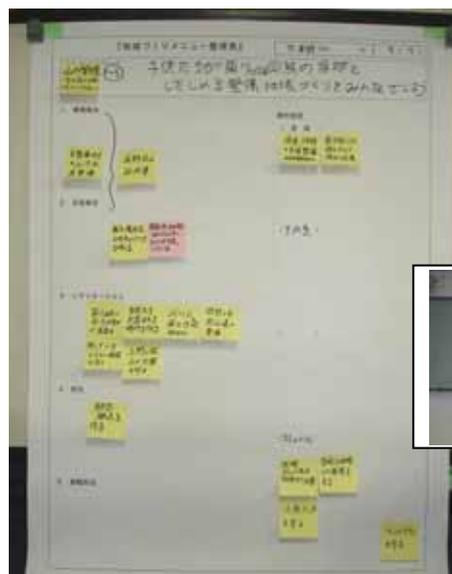


まちづくりのキーワード・テーマ

子供たちが菊川・小畑・四熊の自然としたしめる整備・地域づくり
をみんなでしよう

施策メニュー

- ・防災拠点を作る
- ・上野の城山に公園を作る
- ・河川公園を作る。子供たちが集まれる場所を作る
- ・四熊ヶ岳登山道の整備
- ・菊川清流会などとのネットワークをつくる(まちづくりに関する地域でのコミュニケーションが不足している)
- ・学校と地域との連携を図る
- ・新たなベッドタウンを作る



“瓦版”いかがでしたでしょうか。第2回ワークショップとともに、もう一度ふり返っていただければ幸いです。“瓦版”について、お気づきの点などがございましたら、また都市計画や緑に関する事などまちづくり全般に関わるご質問や提案がございましたら、都市計画課、都市整備課にお問い合わせ下さい。まちづくりは行政と市民の皆様が車の両輪となって進めていかねばなりません。今後とも皆様のご理解・ご協力をお願い致します。

